

食物資源循環事業をはじめませんか？



ご家庭の生ごみを無料で回収して、堆肥としてリサイクルする事業です。参加世帯を募集しています。



◆ 事業内容

- ①家庭から出る生ごみをご自身で用意するバケツに入れていただきます。
※3世帯以上のグループで参加いただけます。
- ②週1回バケツに入っている生ごみを回収しますので、グループごとに決められた場所に、朝8時までに出してください。 ※敷地内に集積場所を決めてください。
- ③回収車が「おさるのかごや」のメロディで回収して行きます。
回収後はお早目にご自分のバケツをお持ち帰りください。
※毎週、①～③をくりかえします。



バケツをご用意下さい

- ・10ℓ程度のフタつきバケツをご自身でご用意ください。
 - ・市販のフタつきバケツをご使用いただけます。
- ※ EM 菌バケツ（微生物の力を使って生ごみを発酵処理するバケツ）などを購入して使用する場合は、購入費の半額まで補助金が出る場合がありますので詳しくは、お問合せください。
- ※「食物資源回収専用バケツ」シールをお渡ししますので、バケツに貼付けて下さい。

臭い対策

- ・水分をよく切ってから入れると腐敗が進まず、臭いが出にくくなります。
- ・コーヒーかすや茶がらなどは臭い消しに有効です。
- ・魚など臭いの気になるものは燃えるごみに出してもかまいません。

食物資源になるもの（バケツに入れられるもの）

- ・食べ残し、消費期限の切れた食品、腐敗した食品
- ・野菜くず、生魚のあら
- ・茶がら、コーヒーかす、果物の実、海藻、ペットフード
- ・玉ねぎ、果物、トウモロコシ、たけのこなどの皮
- ・梅干しの種、果物の種、野菜の種、トウモロコシの芯



詳しい情報は、
市ホームページもご確認を！

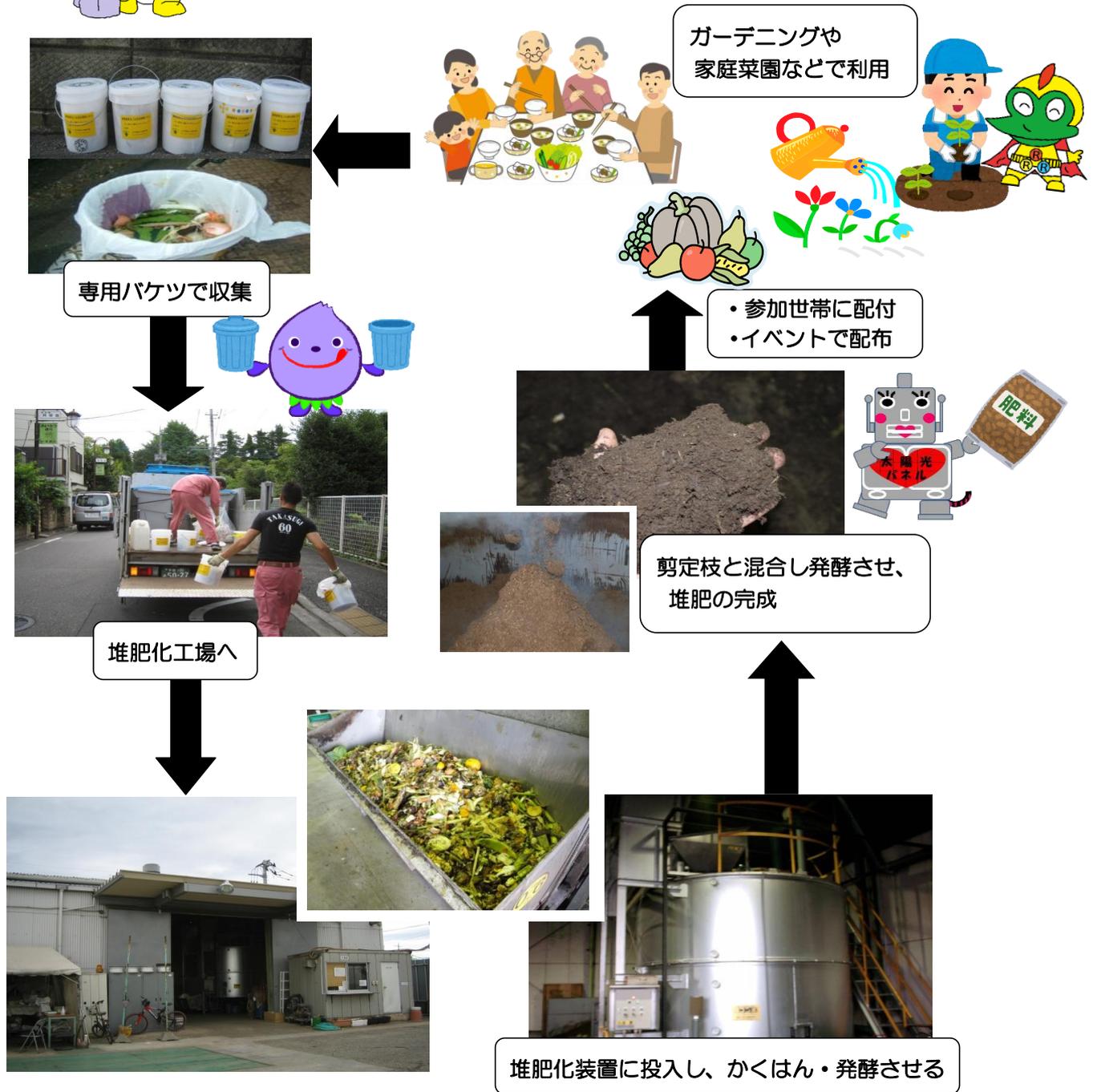
食物資源循環事業



お問合せ・ 小平市 環境部 資源循環課 推進担当
お申込み先 ☎042 (346) 9535 (直通)



<食物資源循環の流れ>



事業参加者にアンケートを実施

回答者のおよそ9割の方から、参加してよかったとの感想をいただきました
「参加してよかった」と答えた方たちの声

- 資源になるからやりがいがある
- 燃えるごみの量が大幅に減り、週1回しか出さなくなった
- 手間はかからない
- ごみに対する意識が変わり、ごみを減らそうという気になった
- むだな物を買わなくなった
- エコへ参加できて、役に立っていることが実感できる
- 家族がごみの分別に積極的に参加するようになった
- 近所の方たちと助け合うようになり、つながりが深まった